

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	吉野ヶ里町立東脊振中学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上について、全職員が基礎的・基本的な知識・技能の習得ができる授業展開を行い、生徒が自分の言葉でまとめや振り返りをする場面を設定する授業の充実を図る。</li> <li>心の教育では、すべての教科や学校行事において夢や目標について考える場面や振り返る場面を計画的に設定する。</li> <li>業務改善・教職員の働き方改革の推進については、教育課程の業務の見直しによって一層の在校等時間の削減を図る。</li> <li>不登校対策については、毎週の教育相談部会や月1回の「不登校生徒支援ネットワーク連絡会」において、情報交換を行い対応を協議する。次年度もSCやSSW等と連携を取りながら支援を継続する。</li> </ul>
---------------	---

2 学校教育目標	<p>人を大切にできる</p> <p>～「やさしさ」と「たくましさ」をそなえた生徒の育成～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>確かな学力を身に付けさせる</li> <li>道徳教育を中核に豊かな心を育てる</li> <li>キャリア教育を通して自律を促す</li> </ol>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて「自分の道徳性が高まっている」と回答した生徒80%以上	・道徳科ではこれまで蓄積した資料を利用してティーム・ティーチング、ローテーションによる授業を行う。 ・道徳に関するアンケートを行う。	A	・11月に実施したアンケート調査では「自分の道徳性が高まっている」と回答した生徒が89%であった。	A	・道徳の授業では、全学年で各時間TTで行い、T1T2を中心に授業準備や振り返りなどをきめ細やかに行った。	A	・達成できている。 ・道徳の授業を通して、生徒の道徳的価値を高めることができている。	道徳教育推進教師:峯
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校がいじめ防止に取り組んでいると回答する生徒80%以上 ○いじめ防止について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・隔週週末に生活アンケートを行う。 ・毎週の職員連絡会での情報交換及びいじめ防止対策委員会を随時行う。	A	・11月に実施したアンケート調査では「学校がいじめ防止に取り組んでいる」と回答した生徒が88%であった。	A	・いじめの覚知認知を迅速に行い、複数職員で組織的に当該生徒への事実確認や指導、保護者対応にあたることができ、重大事案発生防止につなげた。	A	・いじめの覚知認知を迅速に行い、複数職員での当該生徒への事実確認、指導、保護者対応にあたることができている。 ・アンケート等を頻繁にとり、早期発見、対応に努めている。今後も継続してほしい。	生徒指導:安武
●健康・体づくり	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・キャリア教育「夢をかなえる地図」等への計画的な記入を行う。 ・儀式的行事の生徒司会化等で「唯一無二の東脊振中づくり」を行う。	B	・11月に実施したアンケート調査では「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒が66%であった。	B	・アンケート調査では「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒が66%であったが、生徒は普段からフォーサイトノートをよく活用しており、将来への明確なビジョンを描くことができていると思われる。	B	・明確なビジョンを描くことができている生徒は8割を超えていると思われる。 ・職場体験や立志式など、キャリア教育を体系的に行い、生徒の志を今後も高めてほしい。	進路指導・キャリア教育:城島
	○生徒行動目標「東中生みんなで頑張るHGS」よい挨拶、時間の管理、自問清掃の実践	○挨拶ができる生徒80%以上 ○時間を守り行動できる生徒、自分で考えて掃除ができる生徒も同様	・生徒会総務部によるノーチャイム。教員は授業2分前に教室臨場を行う。 ・教員は「自問清掃」での説話をを行う。	A	・11月に実施したアンケート調査では「挨拶・時間を守る・掃除ができている」と回答した生徒が85%であった。	A	・挨拶、時間、掃除に関するアンケートでは、どの項目も目標を達成している。 ・授業前後の挨拶だけでなく生徒会主催の挨拶運動を通して、学校全体で目標達成のために取り組み、改善を図った。また、2分前行動をきちんと行うよう共通理解を図り、生徒会と連携し学校全体で取り組んだ。	A	・生徒会主催の挨拶運動を通して、学校全体で目標達成のために取り組んでいる。 ・中学生なので、プラスαがあるとさらによい。例えば、立ち止まる、相手の目を見る、聞こえる声で挨拶をするなど。	生徒会担当:吉田一
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上 ○朝食を摂る生徒90%以上	・給食週間等に「早寝・早起き・朝ごはん」の調査を全校生徒に行う。 ・家庭科や保健体育など食事の大切さを取り上げた授業を行う。	A	・11月に実施したアンケート調査では「毎日朝食をとっている」と回答した生徒が90%であった。	A	・11月のアンケートで「毎日朝食をとっている」と答えた生徒は90%であり、目標を達成した。今後も朝食の必要性について根拠を踏まえて説明し、各家庭に情報を発信して啓発する必要がある。	A	・達成できている。	給食指導・食育指導:原、山口
	○健康や体づくりについて意識づくりの促進	○部活動、社会体育及び文化活動に取り組む生徒80%以上	・部活動や社会体育、文化活動の意義を踏まえた指導と適正なあり方について、保護者会と連携を図る。	A	・11月に実施したアンケート調査では「部活動や社会体育、文化活動に取り組む」と回答した生徒が82%であった。	A	・校長指導の下、職員間で、校内で緊急対応が起きた場合の動きや、日々の安全管理について確認・共有することができた。また、東脊振中学校危機管理マニュアルを作成し、いつでも使えるように職員で共有している。	A	・達成できている。 ・部活動の在り方については、今後も保護者と連携を図りながら充実を図ってほしい。	体育主任・部活動担当:城島、松尾
●特別支援教育の充実	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則時間外在校等時間の上限に達する職員0(ゼロ)。	・保護者に向けた教職員勤務時間文書を配布を行う。 ・長期休業中は終礼を行い17時完全施錠を行う。 ・年間授業時数1085時間以内とし、必要以上に授業を組まない。	A	・教育委員会規則時間外在校等時間の上限に達する職員が0ではないが、おおむね達成できている。	B	・校務ごとのミニ研修会や打合せ等により、業務の効率化を図ることができた。 ・定時退勤日の意識を高めることができた。 ・職員の94%が年休を7日以上取得した。	B	・未達成であった。 ・定時退勤日の意識を高め、実行することが大切である。	衛生推進者(教頭):笠
	○適正な部活動の推進と健康管理体制の充実	○水曜日と毎月第3日曜日の部活動休養の100%実施。 本校部活動運営方針に基づき、スポーツ科学等の裏付けのある適切な運営を行う。	・部活動休養日を履する。 ・管理職は毎月の時間外勤務時間を把握し産業医(学校医)による面接奨励を行う。 ・教職員のメンタルヘルスを保持するため健康情報誌Smileの配布を行う	A	・本校部活動運営方針に基づき、スポーツ科学等の裏付けのある適切な運営をおおむね行うことができている。	A	・部活動休養日を「部活動活動方針」に定め、実施を徹底することができた。また、PTA運営委員会等を通して保護者の理解を得ることができた。	A	・達成できている。 ・職員のメンタルヘルスに対する計画的な部活動ができている。	部活動担当、衛生推進者:城島、松尾、笠
	○個に応じた支援を行う。	○ふれあいA(知的)B(自・情)C(病)14人に対するアンケートで学校が楽しいと回答する生徒80%以上	・特別支援教育推進委員会、職員連絡会で学校生活の情報交換を行う。	A	・ふれあい学級の生徒14人に対するアンケートでは「学校が楽しい」と回答した生徒が92%であった。	A	・特別支援教育においては、支援学級生徒一人ひとりに個に応じた支援を行うことができた。	A	・学校が楽しいが92%はとてもよい。具体的には、常日頃から場の設定があり安心して学校に通うことができている。	特別支援教育コーディネーター:古館

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	

●...果共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上と心の教育について、非認知能力に関する調査を利用した支援方法に検討を加える。</li> <li>夢や目標を持つ生徒の育成について、5月の町文化体育館・体育的行事を中核に称賛の場面を設定する。</li> <li>教職員の働き方改革の推進については、教職員の意識改善を図り在校等時間の削減を図る。</li> <li>不登校対策については、教育相談部会と「不登校生徒支援ネットワーク連絡会」での情報交換を継続し対応を協議する。</li> </ul>
----------------	--